

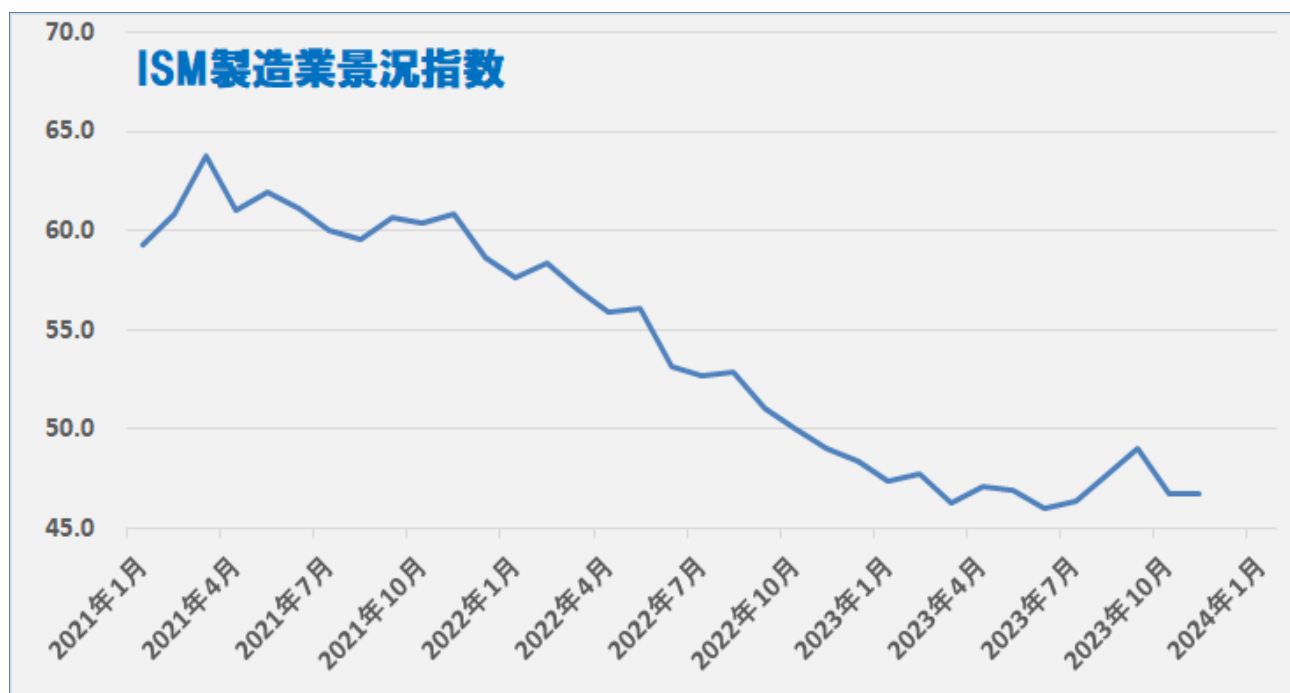


## NY 市場レポート（前日 22 時 00 分～午前 6 時 30 分まで）

### 米国の主要な経済指標の結果

11 月 ISM 製造業景況指数 46.7（予想 47.9・前回 46.7）

11 月の米 ISM 製造業景況指数は、市場予想を下回ったものの、前月から横ばいとなった。また、製造業の景気拡大・縮小の判断基準となる 50 は 13 ヶ月連続で下回った。新規受注が 48.3（前月 45.5）、在庫が 44.8（43.3）、仕入価格が 49.9（45.1）と上昇したものの、生産は 48.5（50.4）、雇用は 45.8（46.8）と低下した。11 月は 3 業種が景況拡大を、14 業種が業況縮小を報告した。



データを基に SBILM が作成

### パウエル FRB 議長の主な発言

- ・ リスクがより均衡しつつあるため、FOMC は慎重に動く
- ・ 金融緩和の時期を推測するのは時期尚早
- ・ 適切であれば追加引き締めを用意
- ・ FOMC は慎重姿勢、リスクはより均衡している
- ・ 政策金利は景気抑制的な領域に深く入った

## ダウ平均は4営業日続伸、昨年1月以来約1年11ヵ月ぶりの高値

米株式市場では、序盤に発表されたISM製造業景況指数が冴えない結果となり、米長期金利が低下したことを受けて主要株価指数は序盤から堅調な動きとなった。さらに、パウエル議長の講演での発言が予想ほどタカ派ではないと受け止められたことも押し上げ要因となった。ダウ平均株価は、序盤から堅調な動きとなり、一時前日比313ドル高まで上昇した。その後は高値圏を維持したまま、394.61ドル高(+0.82%)で終了し、昨年1月以来約1年11ヵ月ぶりの高値となった。一方、ハイテク株中心のナスダックは、78.81ポイント高(+0.55%)と、7月以来の高値で終了した。



データを基にSBILMが作成

セクター別変動率(ダウ平均)			個別の変動率(ダウ平均銘柄)		
	セクター	変動率		銘柄	変動率
1	消費者サービス	1.41%	1	ウォルグリーンBA	4.26%
2	金融	1.33%	2	セールスフォース	3.22%
3	資本財	1.14%	3	ナイキ	2.91%
4	素材	1.06%	4	キャタピラー	2.41%
5	エネルギー	0.84%	5	J&J	2.41%

データを基にSBILMが作成



## ドルは主要通貨に対して下落、ドル/円は一時 9/12 以来の安値

NY 市場では、FRB 議長の発言を控えて様子見ムードが広がっており、序盤のドルは限定的な動きとなった。しかし、11 月の米 ISM 製造業景況指数が市場予想を下回ると、米金利の低下とともにドルは下落となり、ドル/円は序盤の 148.25 から 147.34 まで下落した。そして、パウエル FRB 議長が講演で「適切なら追加引き締めを用意がある」との発言を受けて、一時ドルは買われたものの、その後の発言が予想ほどのタカ派ではないと受け止められ、米長期金利が約 3 カ月ぶりの低水準まで低下する動きもあり、ドル主要通貨に対して下落となり、ドル/円は 146.66 まで下落して 9/12 以来の安値を更新した。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様自身でお願いします。